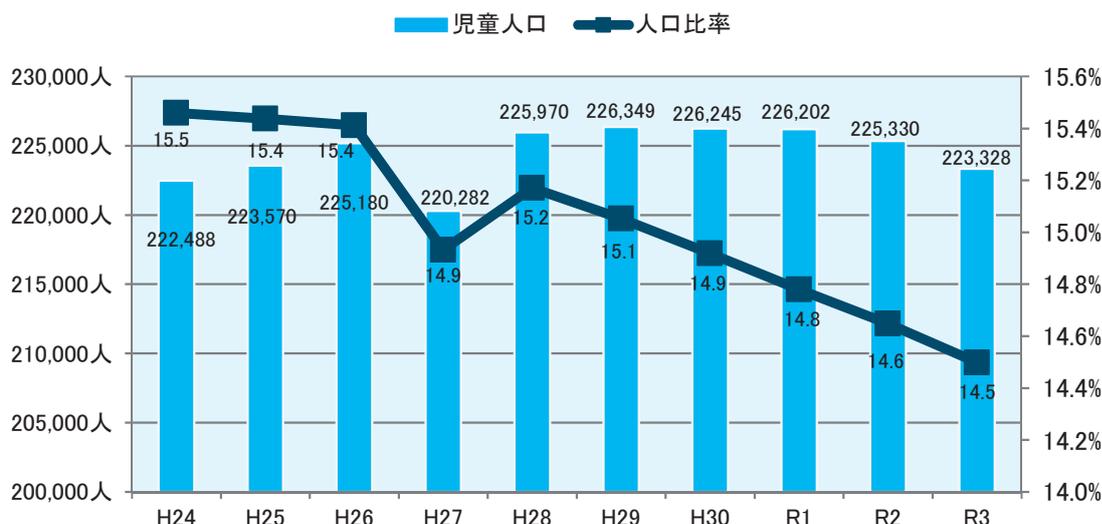


1 川崎市における子どもをめぐる現状

I 子どもの人口の推移

1 市内の児童人口

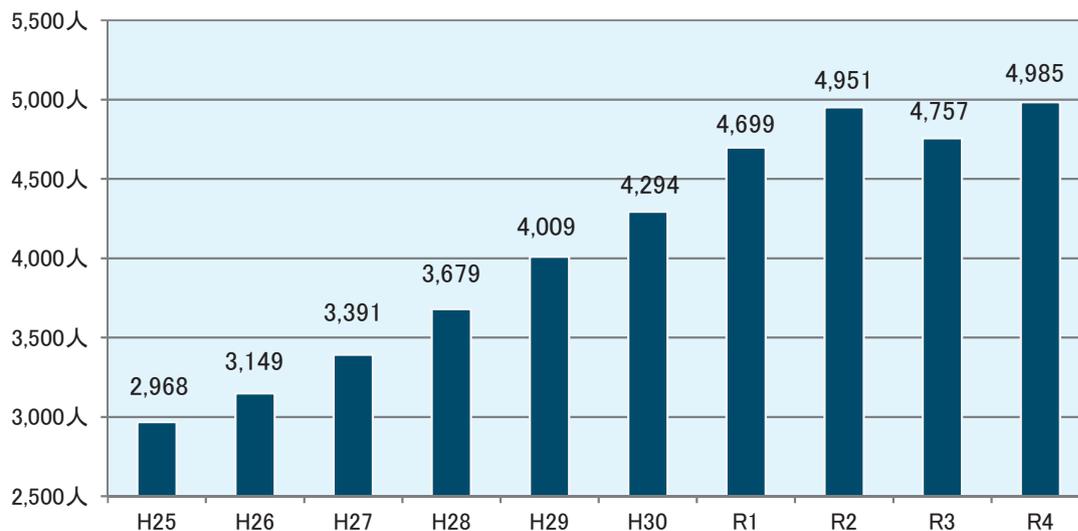
川崎市内の児童人口の推移（過去10年）



出典：川崎市年齢別人口（各年10月1日現在の数値。児童人口は18歳未満）

2 市内の外国人児童人口

市内の外国人児童人口の推移（過去10年）



出典：川崎市管区別年齢別外国人住民人口（各年6月末現在の数値。児童人口は18歳未満）

II 第8回川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査から（抜粋）

実態・意識調査は、子どもの権利施策の進行状況を検証するために定期的に行う調査です。第8回調査については令和4（2022）年6月に実施しました。その一部を掲載します。

【調査概要】（アンケート調査）

○調査対象 3,500人（川崎市内に居住の市民と市立施設等の職員）

- ・子ども（10歳～17歳） 2,100人
- ・大人（18歳以上） 900人
- ・職員（市立施設等） 500人

○調査期間 令和4（2022）年6月～7月

○調査方法 郵送調査（インターネット回答併用）

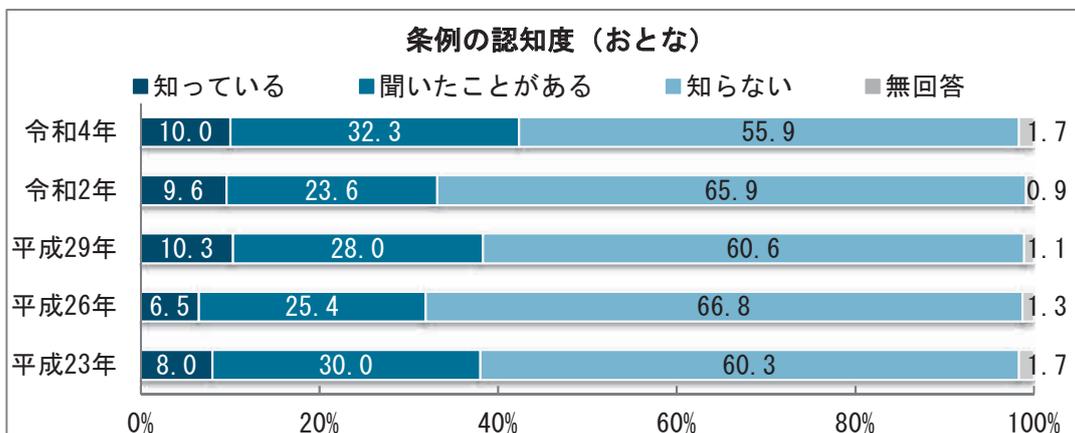
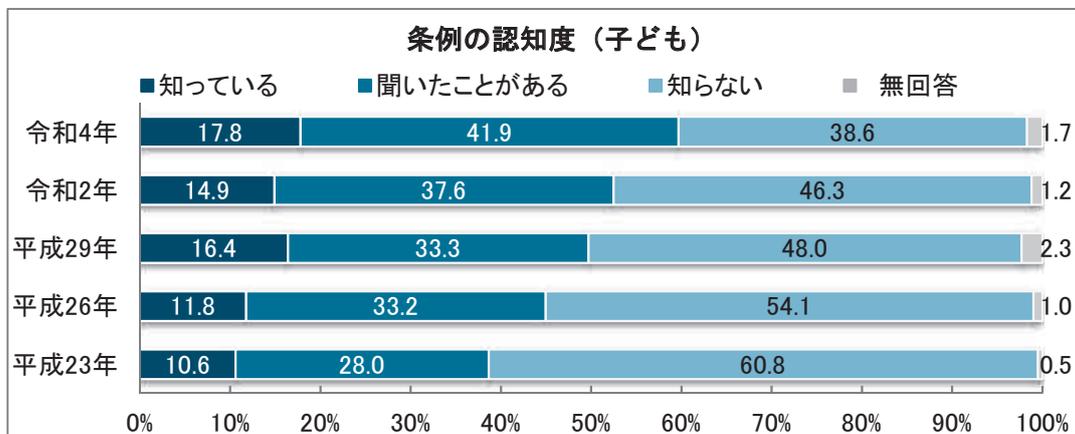
○回収結果 1,095票（回収率31.3%）

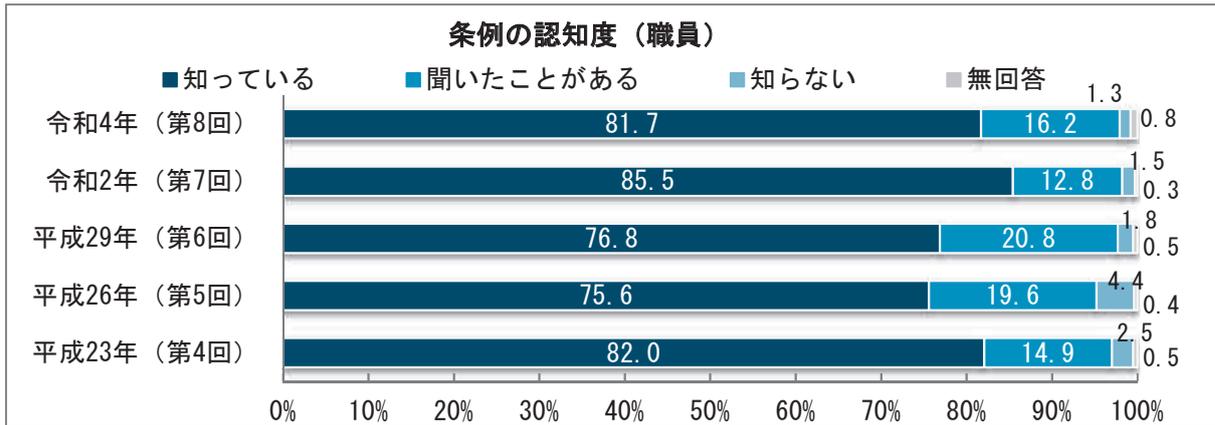
- ・子ども 484票（23.0%）
- ・大人 229票（25.4%）
- ・職員 382票（76.4%）

【結果】

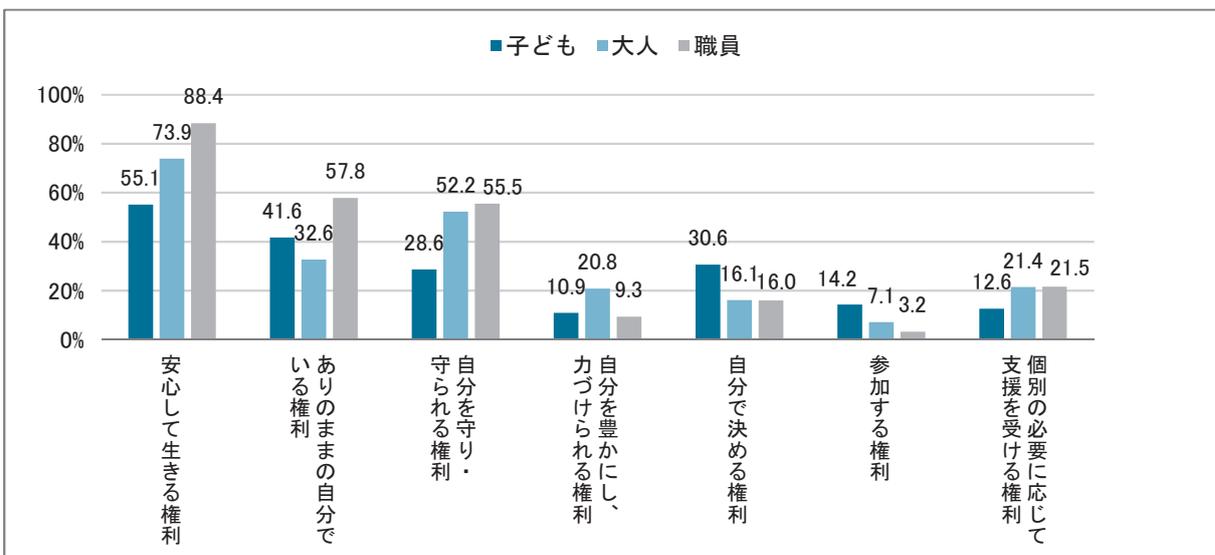
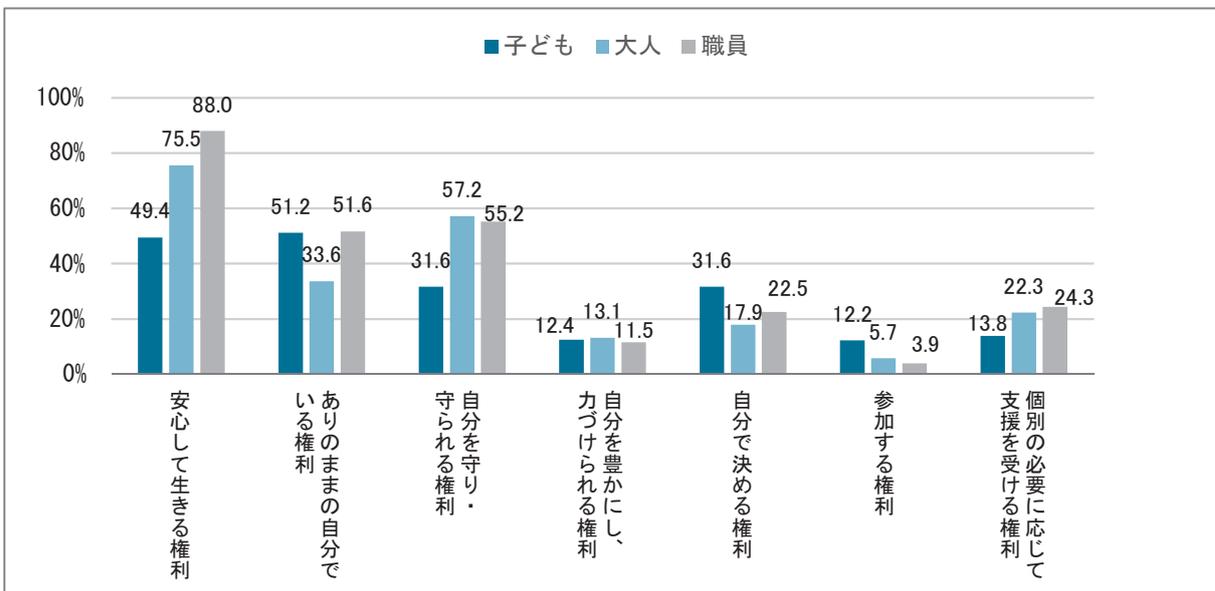
1 条例について

（1）川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。（前4回の結果との比較）



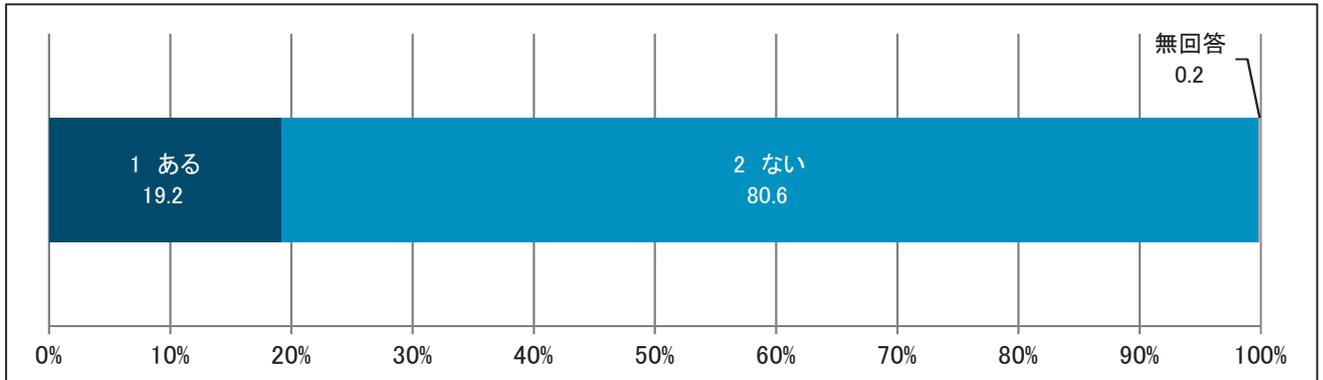


(2) Q 7つの子どもの権利のうち、自分にとって【子ども】子どもにとって【大人・職員】大切だと思うものがありますか。あてはまるものを最大3つまで選んでください。



2 権利侵害等の実態と相談・救済について

(1) Q あなたは、おとな（親、先生など）からたたかれたり、心を傷つけられる言葉が言われたり、無視されたりすることがありますか。

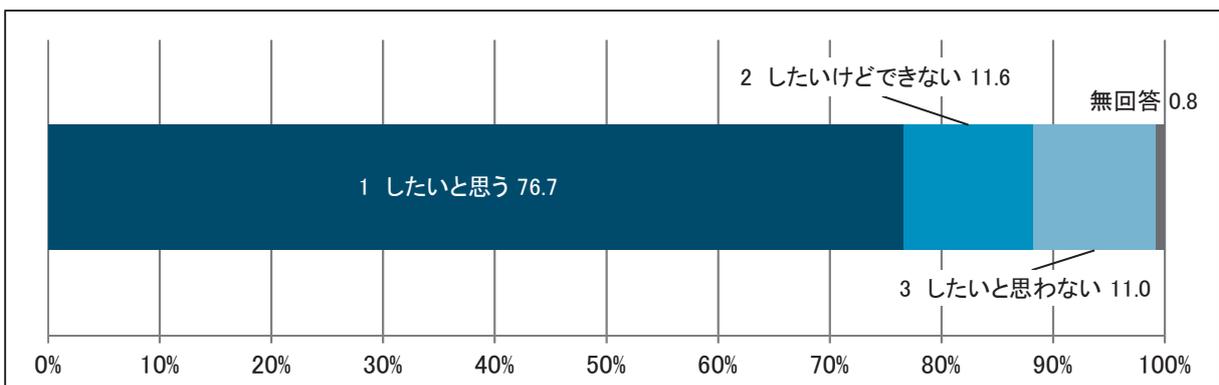


(2) Q あなたは、次の中で疲れること、不安に思うこと、悩んでいることは何ですか。（当てはまるものすべてに○）【子ども】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
学校の勉強・宿題	学校の規則	クラブ活動・部活動	児童会・生徒会活動	塾の勉強・宿題	おけいこ・習いごと	住んでいる地域のスポーツ活動	親・保護者との関係	兄弟姉妹との関係	祖父母との関係	先生との関係	友達や先輩との関係	アルバイト・仕事先との関係	彼氏・彼女との関係
50.2%	17.6%	20.2%	1.7%	20.0%	10.5%	0.6%	11.2%	7.4%	1.2%	7.0%	20.2%	1.9%	2.3%

15	16	17	18	19	20	21	22	23
Twitter・LINEなどSNS上の人間関係	受験・進路	性的なこと	自分の身体のこと	家のお金のこと	家事（家の世話）の伝いや	新型コロナウイルス感染症のこと	その他	疲れること、悩んでいること、不安なこと
3.5%	38.2%	4.8%	9.9%	8.3%	5.0%	19.4%	4.5%	13.4%

(3) Q あなたは、困ったり悩んだりしたとき、誰かに相談したいと思いますか。【子ども】



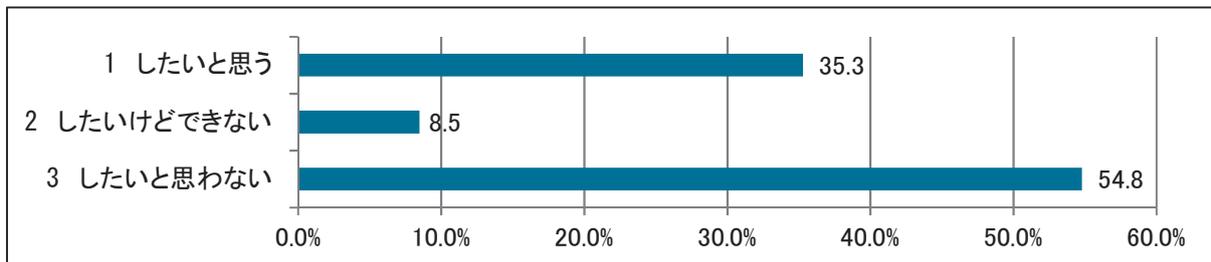
(4) Q あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたらだれに相談しますか。当てはまるものすべてに○【子ども】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
親	友だちの親	兄弟姉妹	祖父母	友だち	先輩	今の学校の先生	今の学校の保健室の先生	今の学校のクラブ・部活動の先生	卒業した学校の先生	監督・コーチ	習いごとの先生の監視	指導室の先生・通級指導	ゆうゆう広場・相談	スクールカウンセラー
78.2%	2.1%	17.3%	13.1%	73.1%	10.5%	31.6%	4.2%	5.2%	4.2%	4.0%	0.5%	4.0%	6.1%	

15	16
その他	相談する人がいない
2.6%	1.2%

【相談機関】

(5) Q あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談救済機関に相談したいと思いますか。【子ども】

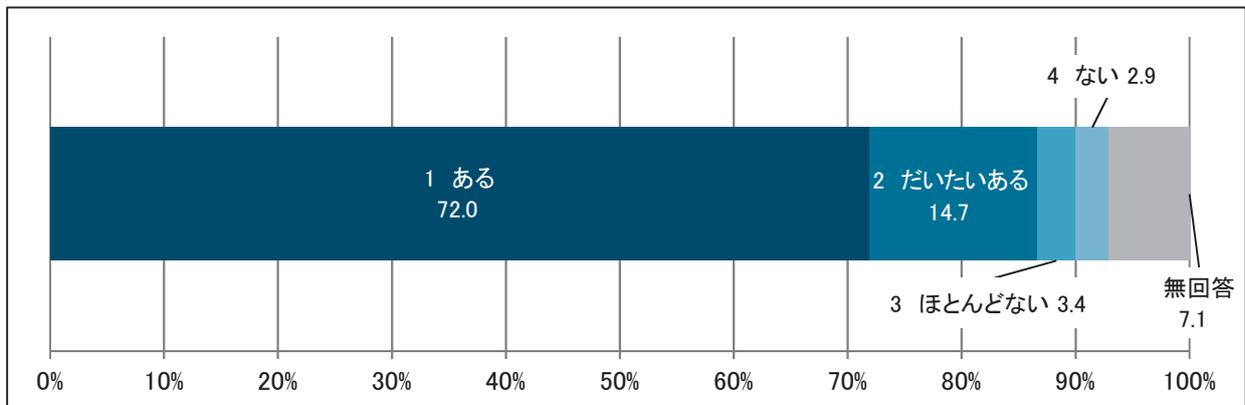


(6) Q あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、どこに相談しますか。当てはまるものすべてに○【子ども】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
保健福祉センター（地域みまもり支援）	児童相談所	児童・青少年電話相談	児童虐待防止センター	民生委員・主任児童委員	スクールカウンセラー	総合教育センター	24時間子どもSOS	教育委員会の教育相談室	電話相談ホットライン（体罰など）	インターネット問題相談窓口	やまびこ相談	かわさき若者サポートセンター	人権オンブズパーソン
11.8%	25.5%	14.2%	5.2%	1.4%	32.5%	7.5%	23.1%	4.2%	9.9%	7.1%	2.8%	3.3%	9.4%

15	16	17	18
川崎市の電話	かわさきチャイルドライン	子どもの人権	神奈川県人権擁護士相談会
13.7%	21.7%	12.7%	3.8%

(7) Q あなたの職場で子どもを支援する際、関係機関や地域団体と協働・連携して行うことがありますか。【職員】



3 意見表明・参加について

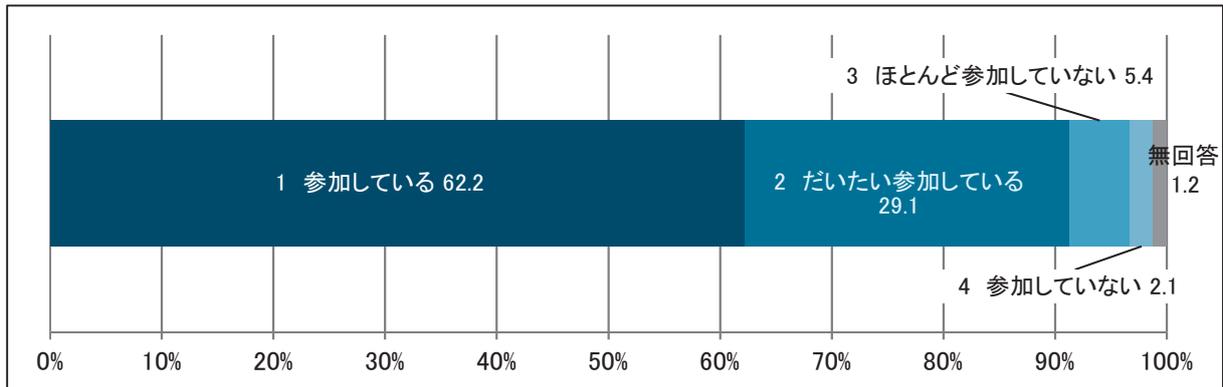
(1) Q あなたは、地域の活動・イベント・ボランティア等に参加したことがありますか。【子ども】

	上位5項目
参加したことがない	44.6%
こども文化センター・わくわくプラザの活動・イベント	29.3%
地域のお祭り(みこし、模擬店の手伝いなど)	28.9%
ボランティア活動(町内会の清掃ボランティアなど)	15.3%
地域の寺子屋	9.7%
地域のスポーツ・文化活動	9.5%

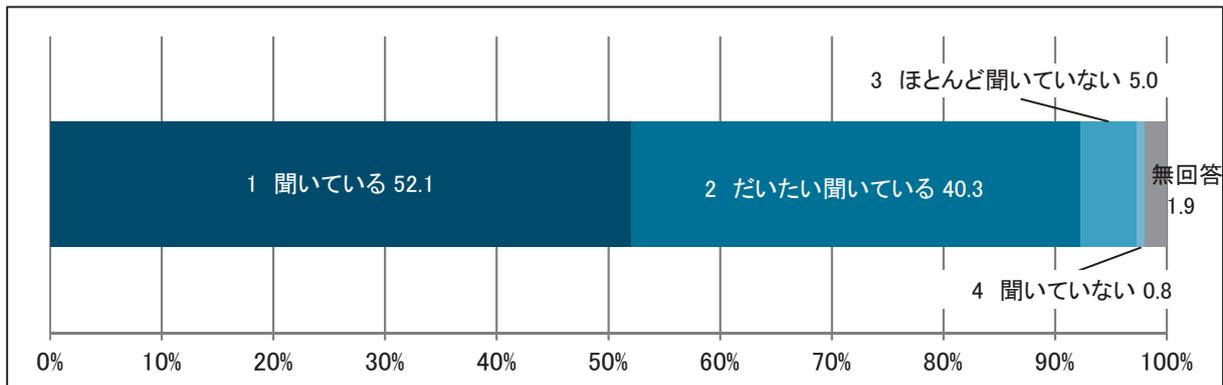
(2) Q あなたは、次のような場で、話し合ったり意見を言ったりしたことがありますか。【子ども】

したことがない	78.9%
学校教育推進会議、生徒会・児童会の話し合い	6.2%
子ども夢パーク・こども文化センター・わくわくプラザでの活動やイベントについての話し合い	5.6%
川崎市子ども会議、行政区・中学校区子ども会議の話し合い	3.9%
子ども会での話し合い	3.1%
その他	2.5%

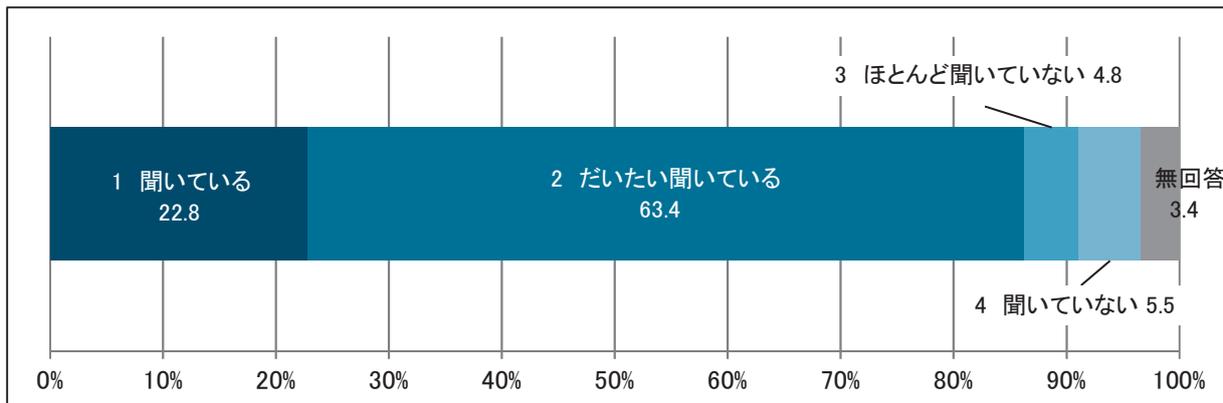
(3) Qあなたは、学校の行事や話し合いに参加していますか



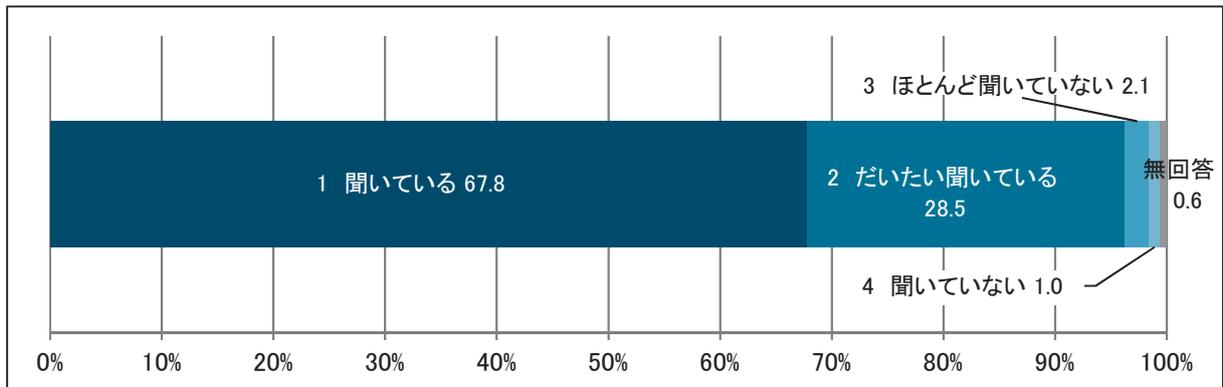
(4) Q家で何かをしたり、決めたりするとき、おとなはあなたの意見を聞いていますか。【子ども】



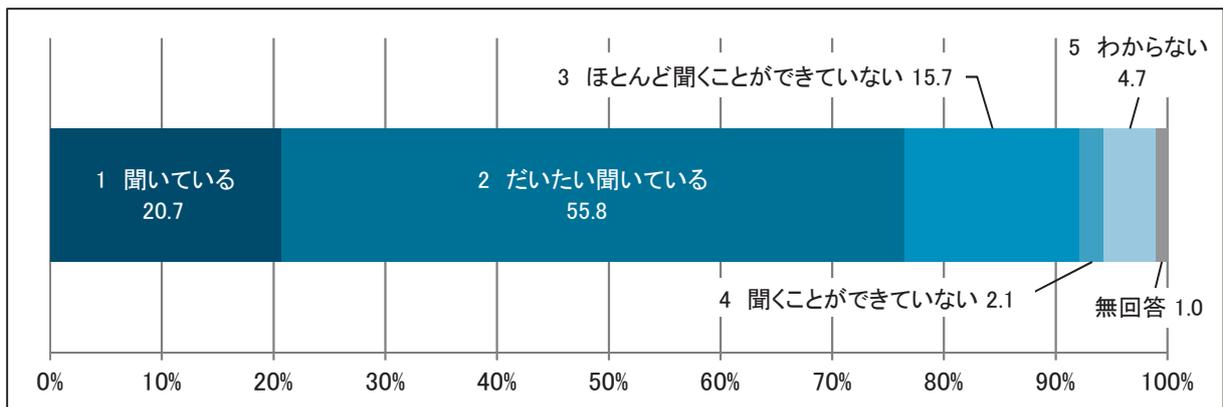
(5) Qあなたは、家の中で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。【おとな】



(6) Q 学校で何かをしたり、決めたりするとき、先生は子どもの意見を聞いていますか。【子ども】

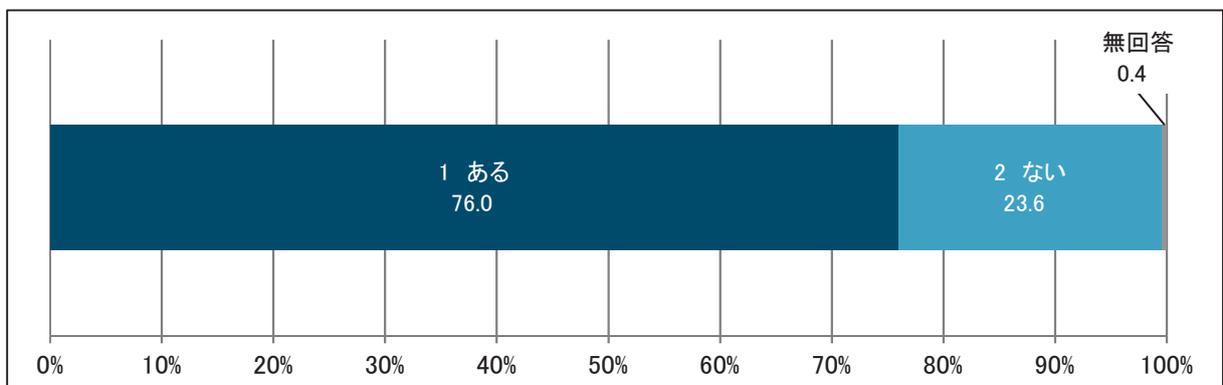


(7) Q あなたの職場では、子どもに関わることを決めるとき、子どもの思いや考えを聞いていますか。【職員】

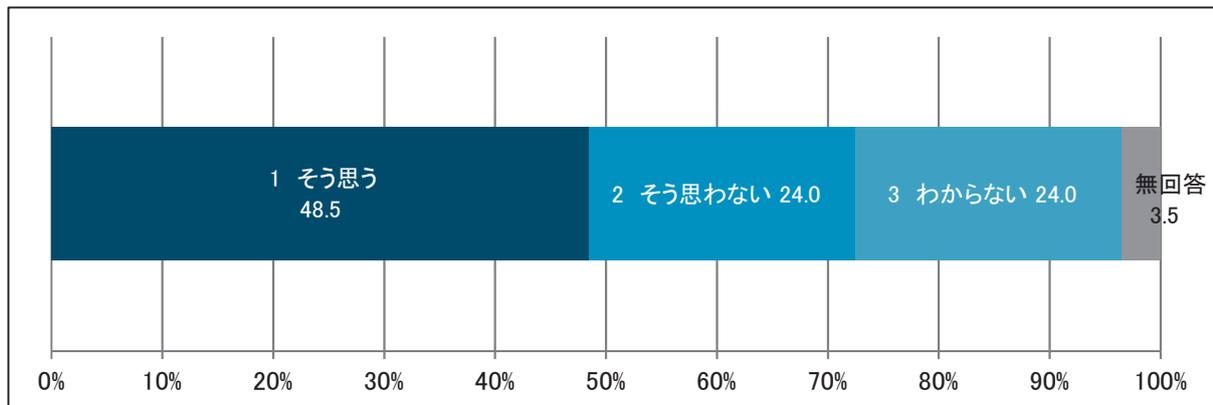


4 居場所について

(1) Q 地域に、遊んだりスポーツしたり安心して自分が好きなことをする場所がありますか。【子ども】

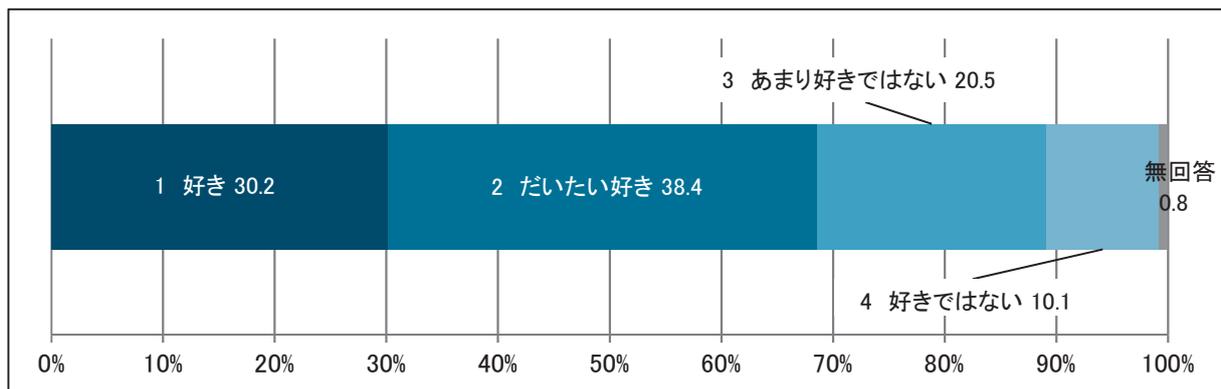


(2) Q 子どもには、地域と一緒に遊んだりスポーツをしたりなど、自分が好きなことをする場所があると思いますか。【おとな】

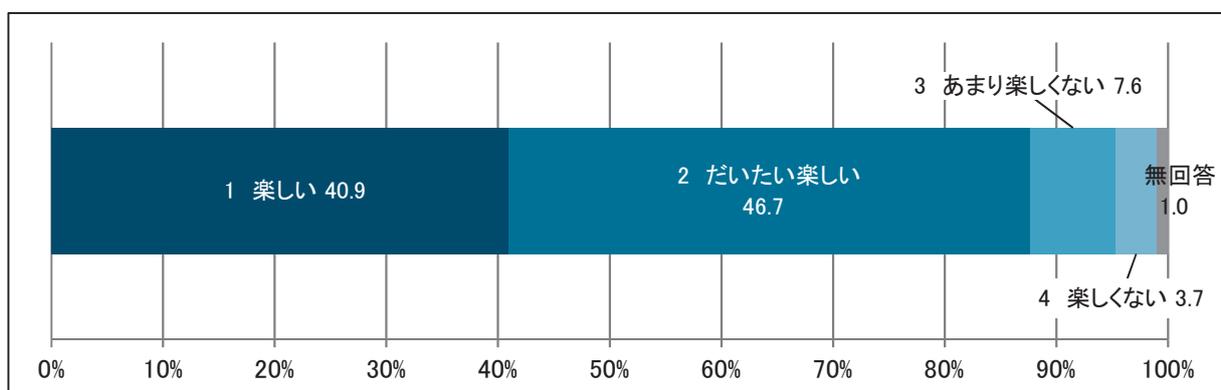


5 自己意識・権利意識について

(1) Q あなたは自分が好きですか。【子ども】

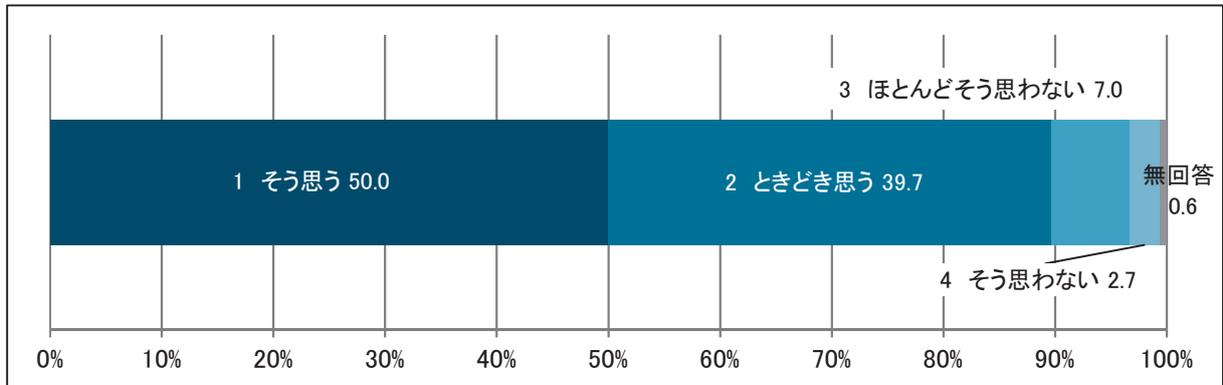


(2) Q あなたは、毎日が楽しいですか。【子ども】

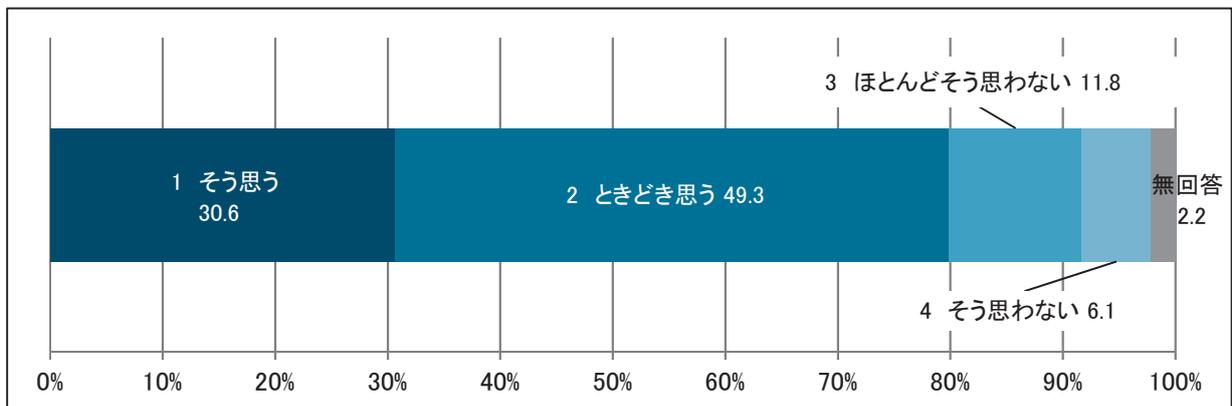


(3) Q あなたは、生活の中で文化・国籍等の違い、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。【子ども・おとな】

【子ども】



【おとな】



5 自由記述

Q 子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していけるには、どんなことが大切だと思いますか【子ども】

- 一人一人の個性が大切にされていくこと (11 歳他同意見 25 名)
- 大人でも子どもでもお互い認めあえること (13 歳他同意見 25 名)
- みんなが仲良くする事が大切 (11 歳他同意見 7 名)
- 子ども会議などの場を増やすべき。将来社会で活躍するために大事だと思うし、こういう経験は貴重だと思う (15 歳)
- 話し合いや意見を言いやすい環境をつくる (13 歳他同意見 18 名)
- 人を差別しない、いじめ、ぎゃくたいなどをしない (10 歳他同意見 17 名)
- いじめがなく、みんなが安心・安全ですぐすことや、なにかあったときに、相談できる場所があること (11 歳他同意見 12 名)
- 良い事をして大人が守もってくれ戦争などで大人達が亡ならない事 (12 歳)

- おとながしっかりすること（14歳他同意見8名）
- 自分の意見を積極的に、言って人と関りを持つこと（11歳他同意見11名）
- 自分のありのままを周りに理解してもらうことが大切（13歳他同意見7名）
- 大人が子供の声にしっかりちゃんと耳を傾けること（10歳他同意見11名）
- 子どもには、大人にはない柔軟な考え方をもっています。ときに大人の核心をついたり、都合の悪いことを発言してしまうことがあるかもしれません。そのときは、優しい心で許してほしいし、1人の人間として接してほしいです。（15歳他同意見4名）
- 大人の人たちが、自分達の死体ではなく、本当に子どものことを思っていることが大切だと思います。今の川崎市はそれができているように思えてすごく良いと思います。また、社会に参加していく中で、川崎市として高校のときの進路を決めるときにイタツなどしてほしいです。（17歳）
- 大人が子供の意見を聞いてあげられる環境があること。子供がお互いを認め合える環境があること（柔軟な考えを持てる心をつくってあげる環境）（15歳他同意見10名）
- 中学校では、規制が多く、自分を自由に表現することができていない人が多いと思う。また、平等に接するという面をもっと大事にして、見直した方がいいと思う。（14歳）
- みんなが社会に参加するために、まとまって話したり、下の学年の子にもおしえられることが大切だと思う。（11歳）
- 学校で一人一人の意見をワークシートなどに記入したりして、意見を交流させることが大切だと思います。（子どものうちに）そうすることで、社会に出ても自分らしく生きることができると考えました。（12歳）